



Hog4 OS v1.2.0 リリースノート

Version: 1.2.0(build 540) May 30, 2013

プラットフォーム (対象機) : Hog 4, Full Boar 4, Road Hog 4, Nano Hog 4, Hog 4PC

インストール手順

すべての Hog4 OS コンソールは、v1.2.0 にアップグレードする際にフルインストールが必要です。使用しているコンソールのフルインストール方法を詳しく知りたい場合は、Hog4 OS のヘルプマニュアルを参照してください。

日本語のフルインストール手順書は、ウシオライティングのサポートサイトからダウンロードしてください。

ウシオライティング サポートサイト <http://www.ryujiro.net/support/>

機能の追加と強化

コマンドキー

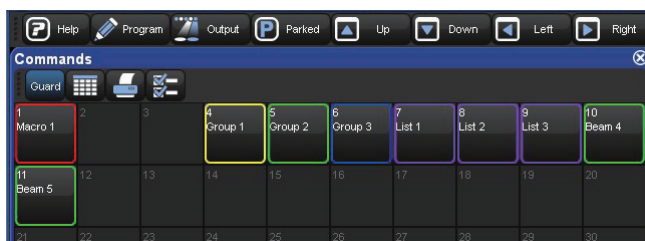
フロントパネルのファンクションキーに新たな操作モードが加わりました。"コマンドキー"と呼び、パレットやグループ、リスト、シーン、キーストロークマクロなど、ユーザーはプログラムされたショーのオブジェクトをファンクションキーへ自由に割り付け、それを押すことで即座に実行することができます。

この機能を使用するには、[Pig]+[Enter] またはトラックボール左上にある銀色のボタンを押してファンクションキーの機能をユーザーカインドから切り替える必要があります。各キーへの割り付けは、パレットを移動する手順と同じような方法で可能です。

例 : [Group] → [1] → [Move] → [移動先のファンクションキー]

コマンドキーのウィンドウを開くには : [Open]+[Commands]

コマンドキーの作成、管理、使用についての詳細説明は、Hog4 OS ヘルプマニュアルの 18 章を御覧ください。



コマンドキーはコマンドウィンドウに記憶されています。このパレットに色を付けることで、ファンクションキーの LCD にも色を付けることができます。

Master Wing 4 に対応

v1.2.0 ソフトウェアは Master Wing 4 に対応した最初のソフトウェアリリースです。Master Wing 4 は、Hog4 PC を含むすべての Hog4 OS コンソールに対応しています。



Maseter Wing4 は、Go と Choose キーが 30 個配されたプレイバック用のウィングです。レートホイールもあり、ランダムに CueList を再生する際に便利です。

フラッシュキーに新しいオプションの追加

フラッシュキーに以下のオプションが追加されました :

assert, release, go, halt, back, restart, goto, cmdline, goto, skip forward, skip backward

Pig+ プレイバックキー=リリース (Release)

Pig キーを押しながらいずれかのマスターフェーダー上のプレイバックキー (Go、Halt、Back) を押すことで、そのマスターをリリースするようになりました。同様に、Pig キーを押しながらキューリストやシーンが割り付けられたコマンドキーを押すことで、そのリストまたはシーンをリリースします。

スタートアップ時の画面にアニメーション追加

スタート画面のアートワークが、短いスタートアップアニメーションに置き換わりました。このアニメーションは、コンソールが起動した時にスタート画面のスプラッシュウィンドウで再生されます。

デフォルトトラックボールボタンオプションの更新

トラックボールボタンオプションのデフォルト (標準設定) が更新されました。左上のボタンには、ファンクションキーのモード切り替えが割り付けられています。 (ユーザーカインドとコマンドキーの切り替え)

ポインタモード、ポジションモード (ブルー点灯) どちらのモードでもファンクションキーの切り替えボタンとして機能します。



"Encoder Wheel Button Option" の追加 (ファインモード)

"エンコーダーホイールボタンオプション" と呼ばれる新しいプリファレンスが、User Preferences (ユーザープリファレンス) ウィンドウの Programming タブに追加されました。このプリファレンスによりユーザーは、各メインエンコーダーホイール左下にあるグレーボタンの機能を変更することができます。(Hog4 の場合、センターエンコーダーも同様です。)

注記: 新規でショー開始した場合、このオプションのデフォルト設定は、"ファインモード" です。詳しくは、ヘルプマニュアルの 4.9.5 を御覧ください。



今まで Pig キーを押しながら Pan などの微調整をしていましたが、ホイール左下のこのボタンを押しながら回すことでも同様の操作が可能です。

"Automatically show kinds masking toolbar" オプションの追加

"オートマテカリーショーカインドマスキングツールバー" (自動的にカインドマスキングツールバーを表示) と呼ばれる新しいオプションが、User Preferences ウィンドウの Programming タブに追加されました。このオプションが ON の時は、record, update, merge, copy キーを押した際にカインドマスキングツールバーが自動的に表示されます。このオプションが OFF の時は、ユーザーが "kind mask" ボタンを押してカインドマスキングツールバーを手動で開く必要があります。新規でショーを開始する時のデフォルトは、"Automatically show kinds masking toolbar" オプション ON になっています。



自動的にカインドマスキングツールバーが表示されるようになりました。ユーザーカインドが多い場合に、パレットなどが下に隠れてボタンが押しづらくなる場合があるので、その際はこのオプションをオフにしてください。

DP と繋がったウィジェットのタイムコードツールバーを開くための新しいコメントマクロ構文

ユーザーは、DP のためのタイムコードツールバーをコメントマクロで開くことができます。

OTd#/# スラッシュの前にある数字 (#) は DP8000 のネットナンバーを表しており、スラッシュの後の数字はその DP8000 のためのタイムコードインデックスを表しています。例えば、OTd2/1 は DP8000 #2/Index2 のタイムコードツールバーを開きます。

ヘルプマニュアルの注記：

Hog 4 OS マニュアルのセクション 25.2、フルインストール手順のステップ 6 でコンソールの HID モードの使用について記載しています。この機能は v1.2.0 のインストール後に Road Hog 4 で使用可能になります。

Hog 4 OS v1.2.0 (build 540) バグ修正：

- D-01149: Hog3Wing のリトライトがスリープモードになっても青くならない。
- D-01157: ビューのツールバーは、一度に 20 ボタンを表示させることができます。
- D-01158: フラッシュドライブのボリューム名にスペースがある場合は、USB ショーファイルのリカバリーは失敗します。
- D-01162: リストが再アサートされるまで、フィードバックのパレットリファレンスは更新されません。(再び Play します)
- D-01164: グループの迅速な選択と非選択は、デスクトップをクラッシュさせます。
- D-01168: キューエディタが開いているときにスロットツールバーが機能しない。
- D-01171: センタースクリーンを使うときは、ディレクトリーウインドーのカラーセクションを OFF にして下さい。
- D-01183: 選択したマスターは、マルチトラッキングセットアップでトラッキングしない。
- D-01187: Cuelist エフェクトレートは、ログオンやノードリセットの後、何時も 100% で再生する。
- D-01209: 16 ユニバース全てに同じ器具をパッチするとデスクトップがクラッシュする。
- D-01211: 選択されたマスターを変える為に「CM」コメントマクロを使用すると選ばれていたマスターは、選ばれたまま残ります。
- D-01214: 時間 / 日付を変更するとコンソールはファイルシステムチェックに入り、完全な起動に失敗する。
- D-01216: 電源の入れ直しで、XWing はバックライトとコントラストを保持しない。
- D-01220: Setup+Encoder ボタン 1 は、キャリブレーションルーチンが終わっても押されたままです。
- D-01227: RH4 は、HID ブートモード中にフロントパネルを見つけられない。
- D-01233: Hog4PC Nano 以外で作成したショーファイルを Hog 4PC Nano でロードするとデスクトップがクラッシュする。
- D-01235: RoadHog : Playback バーが外部モニターで使用可能になっている時、ウインドウは正しく調整されていません。
- D-01238: RoadHog で PlayBack バーを外部モニターに動かすとデスクトップがクラッシュする。
- D-01240: PlayBack バーの 1 から 8 は、Nano モードで外部モニターの代わりに内蔵モニターに出ます。
- D-01252: キューエディターを開けてアップデートするとデスクトップがクラッシュします。
- D-01265: ディレクトリウインドウのデッドゾーンにタッチとドラッグする時に Choose が押されたままになる。
- D-01268: グループの削除を元に戻すと、グループは復元されません。
- D-01276: RoadHog4 デスクトップが 100% の CPU 使用率にある。(無負荷時)
- D-01277: 変更された Cuelist Effect Rate は、現在の PlayBack レートを台無しにしています。
- D-01284: 外部モニターのドックに入れられるウインドウは、RH4 では、log on/off で外部モニターに戻しません。
- D-01292: 新しい H4 ショーに H3 ショーをマージする時、IPCB パレットアイコンが表示されない。
- D-01293: ビューはショーをマージした後に正しく再現されていない。
- D-01294: Auto-Update のデフォルトのマスキングは、すべてのユーザーカインドを含めるべきではありません。
- D-01296: ユーザーカインドマスキングが Auto-Update では機能しない。
- D-01309: 8+ ファイルが表示されると、ファイルブラウザーの終了とキャンセルボタンはスクリーンから押しのけられます。
- D-01322: コメントマクロを介して、LTC TC ツールバーを開くための方法はありません。